

受験番号	
------	--

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 社会 解答用紙

中学校 特別支援学級(社会)解答用紙 (6枚のうち1)

1	得点	
---	----	--

(1)	① 和 /	② 三宝(三寶) /
(2)	池田 輝政 /	
(3)	慈照寺 /	
(4)	平 清盛 /	
(5)	エ /	
(6)	氏名 尚氏 /	城郭名 首里城 /
(7)	蚕の繭から生糸を製造することを製糸業といい、綿花などの繊維を加工して糸にすることを紡績業という。	
(8)	殖産興業 /	
(9)	A → E → D → F → C → B → G /	
(10)	仁徳天皇 /	
(11)	a 石見銀山 /	b 佐渡鉱山 /

☐☐☐☐☐☐

受験番号	
------	--

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 社会 解答用紙

中学校 特別支援学級(社会)解答用紙 (6枚のうち2)

2

得点	
----	--

(1)	ア	ペリー	/
	イ	浦賀	/
	ウ	・石炭と食糧の供給 ・遭難米国民の保護	/
(2)	ア	ミズーリ州は奴隷州とし、ミズーリ州を南境としてそれより以南は奴隷州とする。	/
	イ	b → a → d → c	/
	ウ	アメリカ政府が、国有地に5年間居住し開墾した農業を営む意思があると認められる者に対し、その国有地を無償で与えることを定めた法律	/
	エ	フロンティア	/
	オ	米西戦争	/
	カ	門戸開放宣言	/

☐☐☐☐☐☐☐☐☐

受験番号	
------	--

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 社会 解答用紙

中学校 特別支援学級(社会)解答用紙 (6枚のうち3)

3

得点	
----	--

--

(1)	A 河川名 ナイル川	大陸 イ	／			
	B 河川名 アマゾン川	大陸 エ	／			
	C 河川名 ライン川	大陸 ア	／			
(2)	あ 地中海	／	い 大西洋	／	う 北海	／
(3)	① ウ	／	② ア	／	③ イ	／
	④ エ	／				
(4)	国際河川	／				
(5)	4月1日午後9時					／
(6)	化石燃料を燃焼させることで大気中に排出された温室効果ガスの影響により、海水温の上昇がもたらす海水の膨張や、気温の上昇がもたらすグリーンランドおよび南極の氷河の融解によって、海面水位が上昇している。					／

--

--

--

--

受験番号	
------	--

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 社会 解答用紙

中学校 特別支援学級(社会)解答用紙 (6枚のうち4)

4

得点	
----	--

(1)	三権分立		／			
(2)	①	最高機関	／			
	②	衆議院は、参議院よりも任期が短く、解散制度もあって有権者の意思を敏感に反映することが期待されるから		／		
	③	オ	／			
(3)	①	ア 外交	／	イ 政令	／	
	②	ア	十日以内に衆議院が解散		されない限り	／
		イ	総辞職		をしなければならない。	／
(4)	①	ア 控訴	／	イ 上告	／	
	②	ア	刑事裁判	／		
		イ	被告人が有罪か無罪か		ということ	／
			(有罪の場合には) 刑の量定をどうするか		ということ	／

受験番号	
------	--

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 社会 解答用紙

中学校 特別支援学級(社会)解答用紙 (6枚のうち5)

5

得点	
----	--

(1)	A ア /	B キ /	C ウ /	
	D エ /	E カ /	F オ /	
	G イ /			
(2)	① エ /			
	② ウ、エ /			
	③ 1 . 2 5 km /			

受験番号	
------	--

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 社会 解答用紙

中学校 特別支援学級(社会)解答用紙 (6枚のうち6)

6	得点	
---	----	--

(1)	①	人権	／	②	民主	／	③	公民	／	
	④	平和	／	⑤	福祉	／	⑥	主権	／	
(2)	現代社会をとらえる概念的な枠組みの基礎となるものとして、「対立」「合意」「効率」「公正」がある。まず「対立」と「合意」については、以下のようにとらえることができる。多くの人々は家族、学校などの様々な集団を形成し、そこに所属し生活している。そして、集団に所属する人は、一人一人個性があり多様な考え方や価値観、また利害の違いもあり当然、問題や紛争が生じる場合もある。それらを「対立」としてとらえ、このような「対立」が生じた場合、多様な考え方を持つ人が社会集団の中で共に成り立ちうるように、また、互いの利益が得られるよう、何らかの決定を行い「合意」に至る努力がなされていることについて理解させる。さらに、合意の妥当性について判断する際「効率」や「公正」などの考え方が代表的な判断の基準となる。まず「効率」については、社会全体で「無駄を省く」という考え方である。すなわち、「合意」された内容は無駄を省く最善のものになっているかを検討することを意味している。一方、「公正」については「みんなが参加して決めているか、だれか参加できていない人はいないか」というような手続きの公正さや「不当に不利益を被っている人をなくす」「みんなが同じになるようにする」といった機会の公正さや結果の公正さなど、「公正」には様々な意味合いがあることを理解させた上で、「合意」の手続きについての公正さや「合意」の内容の公正さについて検討することを意味している。例えば生徒会で予算を決める（配分する）場合、最初はいろいろな案があつてまとまらない場合がある。これが「対立」である。しかし、対立していたとしても、そのままでは何もできないから、議論などを通して、最終的にはお互いが納得できる決定を行う。これが「合意」である。その合意した内容が、無駄がないようにしているか検討することを意味しているのが「効率」であり、全員が参加して決めているか、特定の集団（部活動や委員会、クラスなど）に不利益にならないようにしているかについて検討することを意味するのが「公正」である。									